

## 凡 例

- 1 この統計書は、原則として平成22年又は平成22年度中の事実を収録した。さらに最近の事実が得られた資料についてはこれを取り入れた。
- 2 本書は、庁内各課、官公庁、事業所等から収集した資料に基づき編さんし、資料の出所及び調査年月日については各表ごとに掲載した。
- 3 統計表の数量の単位は、すべてメートル法とした。
- 4 数字の単位未満の端数については、四捨五入を原則とした。したがって、内訳の計が合計の数字と一致しない場合もある。
- 5 統計表の中で説明を必要とする事項については、※として表した。
- 6 統計表の符号の用法は、次のとおりである。
  - 「 0 」…………… 単位未満のもの
  - 「 - 」…………… 該当数字のないもの
  - 「 X 」…………… 数字が秘匿されているもの
  - 「 △ 」…………… 負数又は減少したもの
- 7 本書の資料について、さらに詳細な数字を必要とするか疑義のある場合は、各資料の出所又は本市企画財務部企画課企画政策係に照会してください。